

新・アジサイだより

日本共産党青森県議会議員
安藤はるみの



赤い実が

鳥とお話

ハナミズキ

(はるみのワクワク川柳)

9月17日
街頭宣伝

9月19日 憲法改悪を許さない 市民共同行動に参加



発電の可能性を追求しても
りたいものです。

●もんじゅやプルサーマル
計画の見直しも立たず核燃
料サイクル政策は見直すべ
き



●木質バイオマス発電の今
後の可能性は

エネルギー開発振興課長

「平川市で津軽バイオマス
エナジーが6250KW規
模で稼働し、八戸市で八戸
バイオマス発電が1240
0KWの規模で平成30年
4月稼働予定」とし、「木質
バイオマス発電は、間伐材
とか木質燃料をいかに集め
るかがキーとなるが、青森
県にはバイオマスの資源量
は年間107万トンとさ
れ、平川発電で年間7万ト
ン必要とされていることを
考えると15基の可能性が
ある」と答弁。

原子力立地対策課長

「核燃料サイクル推進は、
我が国の一貫した基本方針
であり着実に進めていくと
理解している」と答弁。

労政能力開発課長

「労働者の生計費を考慮す
るにあたって生活保護に係
る施策との整合性に配慮す
るものと理解している。今
回の地域の実情を踏まえた
議論の結果適切に決定され
たと考える」と答弁。21
円増の716円でも最低生
活は保障されないと訴えま
した。

10月2日
日本共産党津軽
女性後援会で高
橋千鶴子衆議院
議員を招いて「公
開記念講演と総
会」が行われ総
会で議会報告を
兼ねて挨拶をし
ました。



9月20日 商工労働観光エネルギー 一委員会での質問

(左下写真)

この他、●大間原子力発電につ
いて●高レベル放射性廃棄物の
最終処分問題●伝統工芸産業の
振興についても質問しました。



最近夫は、通院とリハビリ、デイサービス
の時にしか外に出
ず、妻は相変わらず忙しい日々でゆくり
対応できないそんな
生活に、ストレスもたまっている感じ
でした。そこで何か楽しみ
につながることを計画しようと考
えました。一度計画を見送
った大阪の息子の新居を見に行く
計画です。少し暑さが和らい
でからと9月にやっと実行する
ことが出来ました。

車椅子の旅

ぼつとタイム



2人の子を持つ父になった4男が思い切
って購入した一戸建て
新築住宅は、大阪とはいえ郊外で近
くに田もあり、子育てには
のんびりした良い環境でした。階下
に気を使うマンション暮らし
から解放され、一安心の様でした。
夜は、同じく大阪に暮らす3男一
家も合流し、夫は3人の孫
に囲まれ満足そうでした。
弘前に帰って数日後、夫にと
って思わぬ嬉しい体験がもう一
つありました。

夫は大の水森かおりファンで、ヒ
ロのイベントで水森かおりがや
つてくるというので、借りて
いた車椅子に乗って会いに行
ってきました。生歌も聴くこ
とができ、握手もでき大満足
そうでした。



■皆さんの「ご意見」・「ご要望」をお寄せ下さい。■「生活相談」お気軽にご連絡下さい。9月の相談対応4件。

発行：安藤はるみ

事務所 弘前市宮川2丁目3-2 電話0172-35-7021
10:00~15:00(土・日・祝日休み 留守電対応)

自宅0172-35-2270

9月のホームページアクセス数
26,291件

Eメール ando.harumi@theia.ocn.ne.jp ホームページアドレス http://ando-harumi.com/